



第121回日本小児科学会報告



㊦ 2018. 4月 福岡 ㊦

チック：ドパミン、セロトニン（脳内の伝達物質です）のアンバランスでおきる。わざとではない。ゲームをしていると悪化する。早寝早起き、睡眠を正しくとり、午前中に太陽光を浴びるのが良い、カフェインのとりすぎは良くない。

むずむず脚症候群：ADHDの児の1/4に合併？と言われ始めた。フェリチンを測定し、50以下なら、鉄剤服用でかなり改善する。鎮静性の抗ヒスタミン剤、カフェインで悪化する。

小児のめまい：良性体位性めまい（BPV）、片頭痛にともなうめまい、心因性めまいが多い。それに続くのが、急性前庭障害とOD。

<普段生活上困っているか>で治療が決まる。たまにめまいがあっても、日常生活で困っていなければ、治療は不要。

イオン飲料によるビタミンB1欠乏症：脚気、Wernicke脳症をひきおこす。

ビタミンB1摂取で防げる。イオン飲料の飲みすぎは良くない。

生後3か月以内の湿疹：原因は何であっても、とにかくステロイドやスキンケアでお肌を良くすることが大切。湿疹改善に伴い、他の症状も改善することが多い。

夜尿症：ミニリンメルトとアラーム療法（当院では行っておりません）が主だが、抗コリン薬、ボトックス（ボツリヌス菌の筋注）ロゼレム（メラトニンと同じ作用）、電気刺激などいろいろな治療開発中。

熱性けいれん：テオドール、鎮静性抗ヒスタミン薬は禁忌。



平井こどもクリニック